

せたふく会編集局

この紙面は、当施設の利用者自治会『せたふく会』からの発信紙面です。

せたふく会から新入所者の方と入所式の司会の方にインタビューしました。

——作業所は楽しいですか？

鈴木さん：楽しいです。

澁川さん：はい。

植田さん：楽しいです。

——好きな作業はありますか？

鈴木さん：チラシ入れかな。

澁川さん：箱折りです。

植田さん：事務作業です。



利用者カメラマン撮影



インタビューの様子を職員が背後からさらにカシャリ



司会者インタビュー

——司会は緊張しましたか？

緊張は少ししたけど、本番は大丈夫だった。

(直前の) 練習は全部合格でした。

——新しく仲間が増えた感想は？

仲良くなって、友達が増えて嬉しいです。

——上手に司会ができるコツはありますか？

前を見て、あまり下を向かないようにして、文字(台本)を見るようにしました。楽しかったです。

利用者代表祝辞



文：安部ひろ子 (せたふく会役員)

情報番組『得ダヨネ?』

情報番組『得ダヨネ?』からの告知です。今日は、小田原から中継だそうです。甘ずっぱいな～、アマナツ!

なるほど!酸味の中にもしっかり甘味があるということですね!この甘夏はこの後どうされるのですか?



キャスター 森田、メインキャスター 木村、キャスター 田中



ずっぱい! いや、しかし甘い!



あまなつフェアでジャムやチーズケーキにして販売します!



あまなつフェアは、6月7日、8日に開催します。皆様、ぜひ行ってみたいかがでしょうか!それでは、情報番組『得ダヨネ?』今日はこの辺で。よい一日を!



収穫予報士 アマナツモヒサ

はい、こちら小田原にある甘夏農園から中継です。ご覧ください、今まさに甘夏の収穫期を迎えています。今年の甘夏の出来はどうですか?

ホームページでわいわいコマーシャルスペシャル動画公開中。動画をご覧になった方であまなつフェアご来店の方に限定の特典あります!右のQRコードを読み取り、ご試聴ください。



せたふく通信

わいわい

第39号 平成29年5月25日発行

今号の注目記事

早くも大反響!? ~わいわいコマーシャル~第2弾

NEW せたふくの給食は旨し楽し~せたメシ!!~

繊細な手仕事、あなたも体験! ~特ネタ~



今年も豊作!あまなつフェア開催!!

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が運営する25施設と7つのグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを、物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していきますので、ご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931 東京都八王子市台町1-19-3

電話・FAX: 042-626-9772

編集後記

先日、電車の中で電話をかけだす人がいました。自社の社長に駅まで送ってもらい、無事乗車できた事の報告のようでした。車中なので報告だけかと思ったら、大きな声で仕事以外の事を話し出しました。社員も社長もマナーについて意識をしていないということに驚きました。自分も含め周りも指摘できませんでしたが、どの立場でも、いけない事はいけないとはっきり言える人でありたいと思いました。

話はガラッと変わりますが、「わいわいコマーシャル」の裏話をご紹介します!! 出演者は撮影直前に台本を渡されながらも見事に一発勝負で演技するという役者魂を見せました。(笑) 前号で予告していた利用者の方の参加も実現しました。次回もお楽しみに! (森田 由香)



ここ最近の施設のことがよくわかる！

Waiwai Report

～2月・3月・4月・5月～

♪ 2月1日～3日 クローバーアート

武蔵野会が運営する世田谷区内の4施設合同によるアート展を世田谷ものづくり学校において開催しました。各施設の利用者が制作したアート作品を展示したほか、自主生産品販売もおこないました。



♪ 2月18日 映画『つむぐもの』上映会



クローバーアートと同じく、武蔵野会世田谷区内4施設合同による映画『つむぐもの』の自主上映会を世田谷福祉作業所で開催しました。アットホームな会場に50名ほどの来場者をお迎えしました。映画のストーリーに感極まる方がたくさんいらっしゃいました。

♡ 3月23日 冷蔵ショーケースが当施設に

さら就労塾@ぼれぼれ千歳台事業所様より、冷蔵ショーケースをご寄付いただきました。当施設自慢のチーズケーキの販売等に活用していきます。ありがとうございました！



♡ 4月1日 職員の転入



伊藤施設長のあとを追いかけて練馬福祉園から異動してきた原智央(はらともひさ)です。好きなスポーツは野球とサッカーです。仕事においても自慢の運動神経を活かして活躍が出来るように頑張りたいと思います。収穫予報士アマナツの中の人、私です。

♪ 4月3日 入所式

今年度、3名の利用者を新たにお迎えしました。詳しくは4面、せたふく会編集局にて！

♡ 4月13日 カルガモ行進曲

今年のカルガモ夫婦は作業所の敷地内にまでやってきました！自分からちょっかい出してビビる職員の森田と、クールにスルーする上原さん



アイコンの説明 しごと イベント その他

特典 プライスレスな体験をあなたに…

「太陽と緑と水のまち二子玉川」をキャッチフレーズとして自然環境保護と人にやさしいをテーマに、毎年4月29日(昭和の日)に二子玉川兵庫島公園で開催されている花みず木フェスティバル。今年、世田谷福祉作業所の紙漉きブランド『はんどふる』が、ワークショップで初出店しました。はんどふるの看板商品である香り雑貨『華文香』のワークショップオリジナルバージョンで制作体験ができるコーナーを出店しました。出店ブースのデザインをしてくださったのは今回の出店のお誘いをしてくださった、NPO法人Ubdobeのスタッフさん。紙漉きは、商品そのものの魅力だけではなく、職人さながらの手さばきでおこなう漉き作業やひとつひとつの商品を生み出すていねいな手仕事にも大いに価値があると、私たちは考えます。そうして商品が生まれる感動や充実感をお客様に体験していただきたいと、入念に準備を整えて当日を迎えました。しかしながら当日は、川沿いの強風に予想以上の苦戦。軽やかな手漉き紙が蝶のように舞い、それはそれで美しかったのですが…。そんな中、印象的だったのは、お子さんとご両親の3名で制作体験されたご家族や、「妹はお父さんに、私はお母さんにプレゼントする!」と張り切って制作体験されるご姉妹など。その他にも、お子様を中心に多くの方々ご参加くださいました。



今後は、世田谷福祉作業所内でも紙漉き体験や制作体験ができるワークショップを開催していく予定です。詳細はホームページ等お知らせいたします。(田中ひろみ)

作って楽しい、食べておいしいオリジナル弁当

世田谷福祉作業所の給食は、一年を通して季節感のある食材・料理の提供したり、バリエーション豊富なバイキング等のイベントを実施しています。今月は、『オリジナル弁当をつくらう』というテーマ。約20種類ある、ご飯やおかずの中から好きなものを弁当の容器に詰めて、自分だけの弁当をつくる企画です。一点豪華主義で好きなものを詰めている方、どうすればたくさん詰められるか工夫している方など思い思いに楽しんでいました。

ただし! 『弁当』であるからには、『フタ』をきちんと閉められることがルールです! 皆さん笑顔で完成した弁当を見せ合っていました。

なお、今回のメニューのなかで、わかめご飯とゆかりご飯に使用したお米は、三井住友ファイナンス&リース株式会社様よりご寄付いただいたものを使用させていただきました。ありがとうございました!(森田由香)



作業風景 「巧みの技」

平石紙器工業株式会社様より、長年に渡り、菓子箱の組み立て作業を受託しています。かなりコツのいる作業ですが、経験豊かな利用者にとってはお茶の子さいさいです。今回は、社長さんからもお言葉をいただきました。「単純作業とはいえ、同じ事をひたすら繰り返すことは実はものすごく大変であり、頑張っている皆さんの姿に常に元気を頂いております」これからもよろしくお願いします!(森田由香)

小さちい箱は、よく折りつけないとダメなのよ



穴あけ作業は任せて!



組み立てる時は、最後まで指でちゃんとおさえないといけなから難しい

- 6月7日(水)、8日(木) あまなつフェア**
今年収穫したばかりの無農薬の甘夏を使用したジャムやチーズケーキを正門前で販売します。ホームページのスペシャル動画もお見逃しなく!
- 6月24日(土) 武蔵野会セミナー**
今年、『発達障害』をテーマにイノホールにて開催いたします。ご興味のある方は、ぜひお越しください。詳細は、広報紙同封の資料をご参照ください。
- 7月28日(金) 小田急線「経堂駅」にて販売(11:00～16:00予定)**
経堂駅初出店となります。焼き菓子や手すき紙雑貨を販売します。今まで、施設が遠くてなかなか買いに来られなかった経堂駅の皆さん!ぜひお越しください。
- 8月2日(水)、3日(木) 施設公開イベント(仮)**
2日間にわたって施設を開放し、作業体験や見学ツアー等の企画を実施します。当施設自慢の給食を食べるチャンス!? 詳細は、ホームページなどでお知らせします。
- 8月中旬～下旬 納涼チーズケーキ祭り**
暑さが厳しいときは、ひんやりスイーツで身体の内側から冷やしましょう。ポヌール自慢のチーズケーキを正門前で販売予定です。詳細は随時ホームページでお知らせします。



前略みな様 //

新年度2か月が過ぎ、新入所の方もそれぞれの作業が板に付き、笑顔がまぶしい☆今日このごろです。今年度のメンバー紹介の冊子では、全員から「今年がんばりたいこと」を集めたところ、利用者の方のほとんどが「〇〇の仕事がんばる!」というものでした。さて、目標のための努力が3日坊主にならないためには、そこにどんなインセンティブを見いだすかですが、脳科学者の中野信子さんは、「脳における報酬と努力の量を比べて努力の苦しさは際立つちゃうのでやめちゃう」とおっしゃっていました。反対に脳で報酬を感じられるタイプの方は、地道な努力そのものや目標達成のイメージを楽しみ頑張れるということです。それは職業のタイプでも一つの領域を高める人で、まさに作業所の利用者の皆さんも、施設で生き生きと働く職員もそのタイプだ…と思いました。

今年度も「せたふく通信」はこのような紙面で、年4回、お届けして参りたいと思います。お目通しいただき、ご意見ご感想など頂けましたら幸いです。今後とも変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。(施設長 伊藤 久美子)